

# 中期目標の考え方

第 1 期中期目標  
(平成 25 ~ 28 年度)

◆全体目標

地方独立行政法人制度の特徴  
を生かした急性期医療を担う  
病院運営

◆主な施策

- ・ 経営基盤の安定化
- ・ 医師・看護師の確保
- ・ 救急受け入れ態勢の強化
- ・ 診療科の充実
- ・ 新病院の建設及び開院

政策的背景

- ・ 地域周産期医療としての産科の再開
- ・ 新病院建設に伴い経費負担増による経営圧迫の懸念
- ・ 地域包括システムの中心施設としての役割

地域社会的背景

- ・ 患者サービスの向上を図る医療者の確保と充実
- ・ 4 疾病を中心とした医療の質向上

第 2 期中期目標  
(平成 29 ~ 32 年度)

◆全体目標

急性期医療を担う地域中核病院として地域住民に信頼され共に歩む病院運営

◆主な施策

- ・ 産科の再開
- ・ 緊急手術の増加と救急受入の充実
- ・ 医療従事者の充実と人材育成
- ・ 地域包括システムの推進
- ・ 効率、効果的な運営体制の強化

政策的背景

- ・ 感染症対策等に伴う経費負担増による経営圧迫の懸念
- ・ 働き方改革法案に沿った医師等の働き方改革の推進
- ・ 地域密着型医療機関として周産期医療に対する役割

地域社会的背景

- ・ 感染症対策をとり、市民が安心して受診できる
- ・ 病院のかかり方（救急含む）に関する市民浸透
- ・ 社会的弱者の何かあったときの拠り所

第 3 期中期目標  
(令和 3 ~ 6 年度)

◆全体目標

地域住民から求められる地域密着型の急性期病院としての使命を担う病院運営

◆主な施策

- ・ 周産期医療体制の確立
- ・ 緊急手術の増加
- ・ 総合診療科の充実
- ・ 医療人の育成
- ・ がん放射線治療に対する方向性の明確化
- ・ 医療機関（救急医療含む）の役割に関する市民啓発